2020年9月3日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

積水ハウス・リート投資法人のグリーンボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、積水ハウス・リート投資法人が発行するグリーンボンド^①（5年債40億円、10年債40億円）の引受けにおいて事務主幹事を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

積水ハウス・リート投資法人（以下、本投資法人）は、サステナブル（持続可能）な社会の実現に向け、ESGへ配慮した資産運用を行い、居住用不動産及び商業用不動産等において、入居者の「持続可能な生活拠点」及びテナント企業の「持続可能な事業活動拠点」を提供することを目指しております。投資法人債をグリーンボンドとして継続して発行することにより、ESGへ配慮した資産運用の更なる推進につなげるとともに、ESG投資に関心を持つ投資家層の拡大を通じて資金調達基盤の強化を目的としています。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

回号	第7回債	第8回債
年限	5年	10年
発行額	40億円	40億円
利率	0.250%	0.510%
払込日	2020年9月9日	
償還日	2025年9月9日	2030年9月9日
主幹事	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 みずほ証券株式会社 SMBC日興証券株式会社 野村証券株式会社	
備考	Sustainalyticsよりセカンドパーティ・オピニオンを取得済	

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。本投資法人債は、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者機関である Sustainalytics からセカンドパーティ・オピニオンを取得している

以上